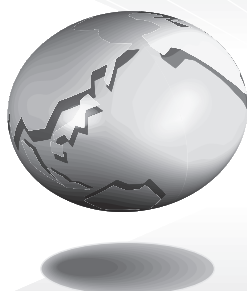


## 国際研究集会派遣報告



## 2024 年度 国際研究集会派遣会員報告書

### ECR2025 は地球に優しい素敵な学会でした

派遣集会：European Congress of Radiology 2025 (ECR2025)

開催場所：Vienna, Austria

開催期間：February 26–March 2, 2025

派遣員 秋山宣行 公立陶生病院

### はじめに

このたび、2025 年 2 月 26 日～3 月 2 日にオーストリア・ウィーンで開催された欧州放射線学会 (European Congress of Radiology 2025: ECR2025) に国際研究集会派遣として参加させていただいたので報告する。

### 研究発表内容

ECR2025 のテーマは「Planet Radiology」であった。科学・持続可能性・社会という三つの主要な領域を掘り下げ、放射線医学を進歩させ、環境への影響を減らして世界中の必要とする人々が利用できるようにする方法を探ることが目的であった。「ECR2025 is all about sustainability」と演題募集にもあり、自身の

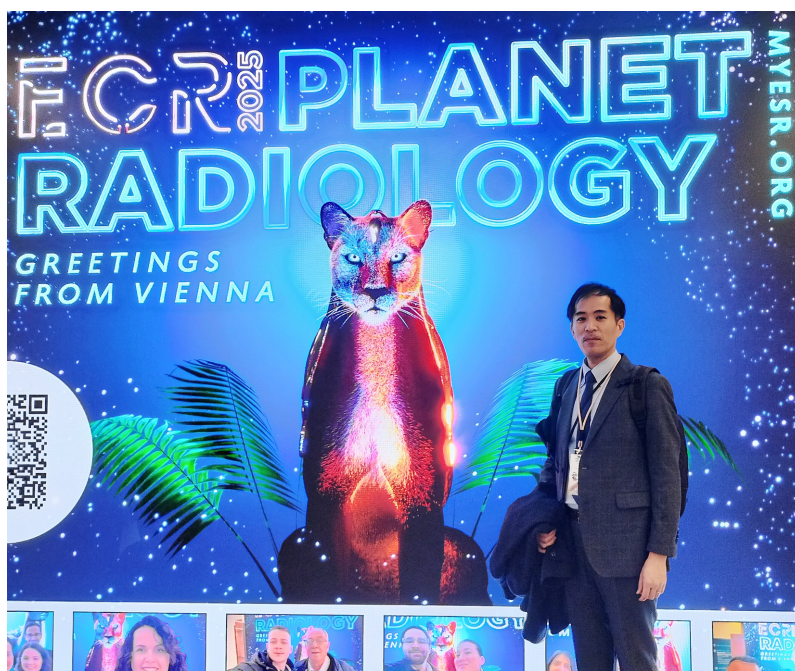


Photo 参加フォトスポット前にて

演題も「sustainable」であると判断し、放射線技師部門・ポスター発表 (EPOS/Radiographer/Educational) に「Development of retrospective respiratory gating reconstruction without the need for special devices or applications: using the time density curve of four-dimensional CT images」というタイトルで演題登録した。肺の4DCT撮影において、特別なデバイスを用いずにtime density curve (TDC)を用いることでretrospectiveに呼吸同期を行い、腫瘍の動きを評価するという発表を行った。4DCT画像の、胸壁といった高コントラスト領域にROIを置いてTDCを描くと、胸壁の動きを模した波形が得られる。これを用いて任意呼吸位相データを取り出すことが可能になる。つまりデバイスや特別なアプリケーションを用いずに呼吸同期再構成ができる＝「sustainable」で有用である、という内容であった。

### ECR2025に参加して

私は約1年前にRSNA2023に参加したが、ECRはScientific Programだけでなく、メーカーが著名な講師を

招いてセミナーを行うIndustry Programがあったのが、RSNAと異なる点だと感じた。このセミナーは、基礎的なものから最新の技術まで学ぶことができ大変面白かった。今回はポスター発表で参加したが、ECRのElectronic Presentation Online System (EPOS)の演題にはdigital object identifier (DOI)が付与され、出版物として取り扱われることが利点である。ECR2025への参加は、記憶にも記録にも残る大変有意義なものであった。

### 謝 辞

ECR2025への参加にあたり、国際研究集会派遣会員として助成いただきました日本放射線技術学会関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。またRSNA2023に引き続き参加する機会を与えてくださった藤田医科大学の辻岡勝美氏、出席を快く承諾してくださった公立陶生病院の中央放射線部の皆様ならびに家族に深く感謝いたします。なお、助成金は渡航費用として使用しました。